

9月のアルミレポートおよび10月の見通し (3)

橋本アルミ(株) 橋本健一郎



■概況

【住宅】平成29年8月の住宅着工戸数は、8万562戸で、前年同月比で2.0%減となった。また、季節調整済年率換算値では94.2万戸(前月比3.2%減)となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で2か月連続の減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は減、分譲住宅は増となった。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【持家】前年同月比では3か月連続の減少(前年同月比7.4%減、季節調整値の前月比では4.5%減)。

【貸家】前年同月比では3か月連続の減少(前年同月比4.9%減、季節調整値の前月比では1.2%減)。

【分譲住宅】前年同月比では3か月連続の増加(前年同月比12.0%増、季節調整値の前月比では9.1%減)。

分譲マンションは、前年同月比では3か月連続の増加(前年同月比66.7%増)。

分譲一戸建住宅では、前年同月比では先月の減少から再びの増加(前年同月比0.8%増)。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】前年比プラス1.7%、5万9911トンで2か月連続プラス。

出荷はプラス1.1%、6万1728トンで3か月ぶりプラス。

出荷先の内訳は、鋳物がプラス4.3%、ダイカストがプラス0.3%、板がプラス3.2%、押出がプラス2%、鉄鋼がマイナス4.7%、合金地金メーカーがマイナス1.9%。

【アルミ圧延・押出品生産数】日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比プラス2%の15万5375トン。10か月連続のプラス。

板類の生産は10か月連続でプラス。出荷は6か月ぶりのマイナス。

缶材は、3万7010トン(▲3.1%)。東日本を中心とする長雨などの天候不順の影響でビール系飲料が減少し、3か月ぶりにマイナス。

自動車は、1万2281トン(5.2%)。乗用車へのアルミ需要増により、6か月連続でプラス(7月の軽自動車を除く国内乗用車生産台数：593千台、前年同月比：プラス0.3%)。

輸出は、1万4121トン(0.5%)。需要としては、ほぼ前年並。

押出類は、生産・出荷ともに10か月連続でプラス。

建設は、3万6398トン(▲1.1%)。東日本を中心とする長雨などの天候不順の影響で建設工事が停滞したこともあり、マイナスとなった。

自動車は、1万915トン(3.0%)。乗用車へのアルミ需要増やトラック架台の好調が継続し、10か月連続でプラス。

【輸出】アルミ新地金が前年比マイナス63.9%の97トン。二次合金がマイナス8.5%の1611トン。スクラップがマイナス9.4%の7091トン。アルミ缶がマイナス5.3%の4848トン。

【輸入】アルミ新地金が前年比プラス33.6%の14万6948トン。二次合金がマイナス12.8%の10万3885トン。スクラップがプラス38.7%の584トン。合金スクラップがプラス20.4%の3748トン。

■見通し

自動車は生産がプラス5.6%。国内販売台数が前年比プラス0.4%。生産が11か月連続プラス。販売が2か月連続プラス。10か月ぶりの販売マイナスから微増ではあるが2か月連続プラスに今後も続くか注意が必要。住宅着工の動向については、前年同月比でマイナス2%と2か月連続マイナス下げ止まり傾向かどうか、今後の動向に注目。

アルミ圧延・押出品生産数では、板類・押出生産合計が前年比プラス2%の15万5375トン。10か月連続プラス。今後も期待。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】前年比プラス1.7%の5万9911トン。2か月連続プラス。出荷はプラス1.1%の6万1728トン。3か月ぶりプラス。生産量は2か月連続プラス。微増ではあるが二次合金出荷量が3か月ぶりプラスへ。今後の動向に注目。アルミ輸出は自動車生産の好調を受けて全種減少。アルミ缶も韓国輸出が減少。アルミ輸入は内需の好調を受けて増加。

【スクラップ需給予想】流通在庫では、自動車生産などが好調だが、ここ最近のLME価格の高止まりを受けて市中玉は不足気味ではないか？

需要面に関しては自動車の生産は好調。販売も2か月連続で増加。ここ最近の地金の高止まりを受けてメーカーが積極的に使用してきた輸入塊が割高となり、スクラップ需要は高まるのではないかと？

【価格・為替予想】今月は10月18日から開催される中国党大会に向けての経済情勢、米国政府の税制改革の進展に左右される。

中国党大会に関しては、環境問題が重要な課題となっており環境規制が厳しくなるなか、10月のひと月間は北京周辺の天津、山西省、内モンゴル、河北省で、鉄鋼をはじめとする素材産業に全面的な生産停止という発令がなされるとの報もある。金属の供給が減少するのではないかと？

米税制改革問題に関しては、トランプ政権が9月中に議会委員会に税制改革案を提示し、10月に下院、11月に上院を通過するシナリオを描いた。ただ、審議日程に余裕はなく、越年の可能性もある。

これらを踏まえた10月のアルミ価格は、【4面に続く】